

創刊号



発行日 令和3年3月1日

発行 奈良県立藤の木学園

編集 藤の木学園広報部

〒631-0043

奈良市菅野台2-4-3

TEL 0742-45-0691

FAX 0742-45-0692

mail fujinoki@office.pref.nara.lg.jp

発刊にあたって

奈良県立藤の木学園 園長 村中 幸雄

みなさんこんにちは、いつもお世話になりありがとうございます。広報誌発刊に当たりましてご挨拶させていただきます。皆様方のご指導、ご支援によりまして、コロナ感染症下ではありますが、感染症予防をしながら、在園児・職員とも元気に生活しております。

近況といたしましては、開設間近に、新型コロナウイルス感染症が第一次流行となり、緊急事態宣言も発出され、3月初旬から4月の開設時を挟み、入所児童たちは学校が休校となり、4ヶ月～5ヶ月学校に行けない日々が続き、すべての学校で全員登校が実現したのは7月中旬となりました。

さて、奈良県立藤の木学園は、昭和38年に開設された知的障害児入所施設である登美学園と、昭和30年に奈良市油阪町に開設された平城寮を前身とし、昭和44年に開設された視覚・聴覚障害児入所施設である筒井寮が発展進化し、令和2年4月に開設した、児童福祉法42条に基づき「障害のある児童を入所させて、これを保護するとともに、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能を与えること」を目的とした、県内唯一の県立福祉型障害児施設（知的・視覚・聴覚）です。

さらに、学校再開後も、学園としては、感染症にかからない対策を万全とするため、見学の抑制、子どもたちの帰省・外出の抑制、園内行事の中止等、子どもたち、また、保護者、学校、その他関係者の皆様にもご不便をかけながらも日々職員一同、子どもたちの笑顔を頼りに生活支援を行っているところです。

施設の名称は、学園周辺の地名である富雄川周辺地域で古くからある地名「藤ノ木」に由来しており、その「藤」は、日本古来の花木であり、万葉集に26首も詠まれています。生命力が強く、樹齢も長い花木で「優しさ」がその花言葉となっています。藤の生命力、伸びる力を子どもたちの成長に重ね合わせ、子どもたちに寄り添い、優しくありたいという願いを込めて藤の木学園となりました。

また、新施設居住棟の建設及び旧施設の解体に際しまして、地域の皆様には、多大なご迷惑をおかけしております。

藤の木学園では、8つの少人数グループ単位で生活するユニット制（そら・にじ、ほし・つき、さくら・こすもす、ひまわり・たんぼぼ）を新たに導入し、家庭的な雰囲気の中で障害特性に応じたきめ細やかな支援を行っていきます。

今後も、令和4年度のフルオープンを目指し、管理棟、指導訓練棟、外構工事等建築工事に伴い、地域の皆様方には引き続きご迷惑をおかけいたしますことを、お詫び申し上げます。

当学園の理念としては、3つの柱「子どもへの支援」「家庭への支援」「地域への支援」を中心に据え、障害のある子どもたちの育ちを家族とともに支えていくほか、運営方針としては「安心・安全かつ居心地のよい生活環境の保障」「健全な心身と生きる力の育成」「子どもの自立・社会参加に向けた支援の充実」「家庭との連携・協働」「関係機関との連携による支援の充実」「職員のスキルアップ」の6つを充実させていきます。

これまでも、これからも地域に根ざした藤の木学園として努力して参りますので、地域の皆様方及び関係の皆様方のご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

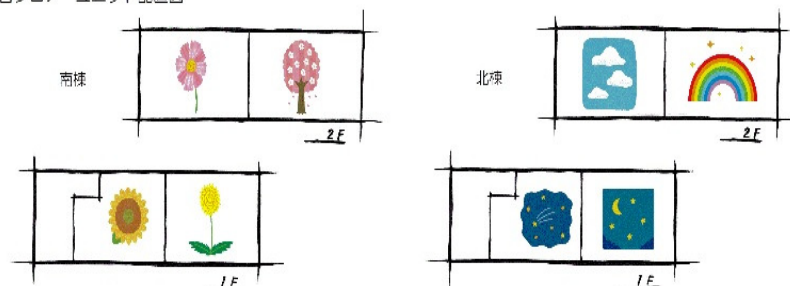
最後になりましたが、子どもたちが安心して暮らすためには、地域の皆様や関係機関の皆様との一層の連携が必要となります。

このたび、広報誌を発行し、藤の木学園の考えや、現状、在園児の生活、援助等の課題や取り組みをお知らせするとともに、皆様方からも、いろいろなご意見やご要望等を当学園にお寄せいただき、地域のあってよかった藤の木学園といわれるようになり、当たり前な生活支援と学園発展の一助にさせていただきたいと存じます。



フロア紹介

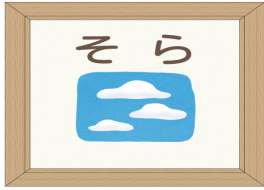
各フロア ユニット配置図



各ユニットの紹介



そらユニット (視覚・聴覚障害)



そらユニットは視覚障害・聴覚障害児を支援する男子ユニットです。盲学校またはろう学校に通学している幼稚園から高等部までの子どもたちが生活しています。個々のコミュニケーションを大切にしながら、それぞれの自立を目標に日々取り組んでいます。

にじユニット (視覚・聴覚障害)

にじユニットです。小学2年生から高校3年生の女子たちが盲学校、ろう学校に通学しています。筒井寮から見える学校へ毎朝通っていた環境から一変、藤の木学園からバス通学になりおしゃべりに花が咲く子。時間を気にしながら、足早にバスと電車で自主通学するお姉さんたちの毎日が今年度からスタートしました。

にじの手話は、右手の親指・人差し指・中指を伸ばして指文字の7を、顔の左前から上に弧を描いて右に動かします。にじの7人が虹のように、それぞれのカラーをだしながら将来に向けて、地に足をつけて前進していけるように支援しています。



ほしユニット (知的障害)



ほしユニットは、知的障害児重度・年少ユニットです。児童は年齢幅も活動幅も広く元気な男の子7人が生活しています。1学期の間は、引っ越しや新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で落ち着かない毎日でした。そんな中、それぞれ居心地の良い場所や遊びを見つけて過ごしてきました。

ほしユニットの廊下は、北側の建物の1階のため少々暗いのですが、子ども達の笑顔は「ほし」のようにキラキラと輝きまぶしいほどです。子ども達の秘めた可能性を引き出し、これからも笑顔の絶えないユニットでありたいと思います。

つきユニット (知的障害)

4月から始まったユニット生活。新しい建物、1人部屋等にうれしさと不安が入り交じったスタートでした。そんな中で、つきユニットには6人の男の子が生活しています。6人それぞれ個性たっぷりな子どもたちです。

ユニットのシンボルマークの「三日月」に6人が肩を寄せ合いバランスをとってゆらゆら揺られていたら良いのですが、なかなかそんなわけにはいきません。ぶつかり合うこともしばしばあります。ぶつかりながらも、折り合いをつけ生活しています。

まだまだ手探りをしながらの生活ですが、それぞれの個性が生かしながら、シンプルに生活できたらと思っています。

これからも、つきユニットよろしく願います。



さくらユニット (知的障害)

さくらユニットには、9名の女子が生活を送っています。年齢は5歳児（こども園年中）と小学生5名と高校生3名で、平日はそれぞれ、こども園や学校へ通っています。

休日は、小さいおさんは、お天気の良い日に学園近くの公園まで遊びに行ったりする事もありますが、ユニットの中で私物のおもちゃや塗り絵、録画したアニメを観たり等で好きな遊びをして過ごしています。

高校生もユニットの中でテレビや好きな本を見たりして過ごしています。時々ですが、おやつ作りにホットケーキやゼリー等作ってくれる時もあり、それをおやつで頂く事もあります。

さくらユニットの子どもたちは、中軽度の知的障がいがありますが、職員が支援を行いながら、自分でできる事を1つでも増やしていけるようにと日々、子どもたちと接しています。また、月に1回の週末に子ども会議も行っています。その時に各自の目標を決めて、1ヶ月後の子ども会議でその目標を振り返り、次の目標を決めたり、職員の会議で話合って欲しいという事があれば、要望を聞き、その後、子どもたちに結果を伝えたりする事もあります。

さくらユニットでの生活がスタートして、1年近くになります。集団生活の中で、色々とお友達関係等もありますが、みんなで仲良く、楽しく過ごせるユニットを目標に、これからも頑張って運営をしていけたらと思います。これからも宜しくお願いします。

こすもすユニット (知的障害)

こすもすユニットは、現在、小学校2年生から高校3年生までの女の子7人が生活しています。皆、音楽が大好きで、テレビから好きな曲が流れると立ち上がり、歌い踊っています。

また、晴れた休日は、片道1時間ほど歩いて、矢田の県立民俗博物館まで行く事もあります。しっかり遊んで、しっかり食べて、しっかり寝ての「3しっかり」で元気！元気！です。

今年のユニット目標は「新しい生活に慣れ、自分でできることを増やしていきます」です。

お姉さんたちは、職員に聞きながら自分でやろうとする意欲が見られ、下の子どもたちは、職員やお姉さんたちに協力してもらいながら頑張っています。

今では自分でやろうとする意欲が芽生え、起床時、下校時の検温や入浴時の洗体、洗髪も職員が言わずともやっっていることが多々あります。

これからも子どもたちと一緒に、楽しいこすもすユニットを作っていきたいと思っています。よろしくお祈りします。



ひまわりユニット (知的障害)

ひまわりユニットは、小学6年生から高校3年生までの男子9名で生活しています。

今年度からユニットとなり、新しい暮らしに期待を寄せてのスタートとなりました。

建物は新しくなり、快適な生活空間に皆喜んでいましたが、行事に関しては、コロナの影響で学園・ユニット行事とも大幅に縮小となりました。毎年恒例の臨海訓練・学舎も開催されず、ユニバーサルスタジオジャパンへのお出かけも断念しました。皆で悔しさを分かち合い、改めて健康の有り難さを感じながら、コロナ禍でも楽しめることを探しました。就労体験の一環を生活に取り入れながらおうち時間を楽しもうと、ピザやパンの調理販売に挑戦したり、全面芝の新設された小グラウンドで、フットサルを思いっきり汗を流して楽しみストレス発散！したり、お小遣いで購入したポケモンカードゲームの対戦をしたり・・・と天候に応じたおうち時間を楽しみました。

また、毎年出演しているアートコミュニケーションも今年は会場での開催は中止となりましたが、BTSの「DYNAMITE」とNiziUのなわとびダンスを毎晩練習し撮影していただき、DVD出演を果たしました。

しばらくこの状況は続くと思われませんが、マイナスの状況をプラスに変えていけるよう、これから先も皆で力を合わせがんばっていききたいと思います。

たんぼぼユニット (知的障害)

たんぼぼユニットは、小学生から高校生までの男子8人のユニットです。お喋りが大好きな個性的なメンバーの集まりで、楽しく毎日を過ごしています。

新ユニットに移動になったときは、ケンカも多かったのですが、徐々に新生活を満喫できるようになってきました。男の子ばかりのユニットで、とにかく元気いっぱい。休日は散歩や公園遊び、サッカーなどで、思いっきり身体を動かします。電車やバスが好きな子も多いので、散歩がてら、駅まで行くこともあります。

学校から持ち帰った野菜でお菓子作りや料理をし、食育に取り組みました。月に1回、生活を振り返ったり、ルールを見直したり考えたりする場として、子ども会議を実施しました。

今年度はコロナの影響もあり、行事が大幅に中止になりましたが、夏には園内でバーベキューや水遊びをして盛り上がり、秋にはワールド牧場に行き、動物に触れあいました。

外出も思うようにできず、「コロナが終わったら〇〇に行きたい!」「□□をしたい!」と、みんなで思いを馳せ、収束を心待ちにしています。

笑顔が絶えない、穏やかで楽しいユニットをめざし、子どもたちと頑張ります。これからもよろしくお祈りします。



令和2年4月新規採用職員の紹介

(そらユニット 児玉児童指導員)

はじめまして。令和2年度新規採用職員の児玉康平（こだまこうへい）と申します。登美学園と筒井寮が統合し、藤の木学園における初めての採用ということで、期待と不安を感じる今この頃です。現在は先輩職員からアドバイスをいただきつつ、時には子どもたちからも学びながら懸命に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

(ほしユニット 中村児童指導員)

令和2年度新規採用職員、ほしユニット所属の中村皓平（なかむらこうへい）と申します。放課後等デイサービスや児童発達支援の事業所を経て、藤の木学園で子どもたちの支援をすることになりました。趣味は釣りで、暇があると釣りのことを考えています。コロナ禍で不自由な時間が続いているのですが、落ち着いて過ごせるように支援をしたいと思っています。

(つきユニット 八木保育士)

令和2年度新規採用職員の八木一徳（やぎかずのり）と申します。新施設「藤の木学園」と共に、新しくスタートできることに喜びを感じています。日々勉強しながら、子どもたちと、楽しい生活を送っていききたいと思っています。コロナウィルスの影響で、思うような生活が送れない中、最善を尽くし、マスクをしていてもわかる笑顔・表情を大切に過ごしていききたいです。

(さくらユニット 近澤保育士)

令和2年度新規採用職員の近澤舞音（ちかざわまお）と申します。社会人1年目、まだまだ分からないことばかりですが、予想外の行動をしてくれる子ども達と忙しくも楽しい日々を送っています。その日々の生活の中で、子ども達が少しでも多くの経験ができるように心がけて支援を行っていききたいと思っています。どうぞ、宜しく願い致します。

(事務所 原田管理栄養士)

管理栄養士の原田星（はらだあかり）です。藤の木学園で、毎日の食事を考えています。初めて学園に来た時、子どもたちの食べ残しがほとんどなくてびっくりしました。私も厨房の職員さんも「おいしい！」と言って、全部食べてもらえると、すごくうれしい気持ちになります。これからも、子どもたちの「おいしい！」を励みに、一生懸命頑張りたいと思います。

(こすもすユニット 浦出児童指導員)

本年度新規採用職員の浦出 夏帆（うらでかほ）です。新たにスタートした「藤の木学園」とともに私自身も新しい一歩を進むことができ、嬉しさと緊張を感じつつ、新鮮な毎日を送っています。大変な時期ではありますが、日々成長し、さまざまな表情を見せてくれる子ども達との生活を今後も大切にしながら、私自身も藤の木学園職員として成長していきたいです。

(ひまわりユニット 池下保育士)

池下晃司（いけしたこうじ）です。私は、趣味で社会人サッカーチームに属しています。去年は、コロナのためサッカーはできませんでした。しかし、藤の木学園で、子どもたちと色々な運動や遊びを楽しむことができています。これからも、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

(たんぼぼユニット 印牧児童指導員)

印牧喜大（かねまきよしひろ）です。好きなことは、散歩や山登りなどダイエットを意識して頑張った後に食べるラーメンです。頑張った後の1杯は、より一層美味しく感じます。コロナが落ち着いたなら再開したいと思っています。2月半ばに、第一子が誕生予定で楽しみにしています。命名書を上手に書けるよう、書道の練習を始めました。公私共々、精一杯頑張っていこうと思いますので宜しくお願い致します。

(たんぼぼユニット 植田児童指導員)

令和2年度より藤の木学園、たんぼぼユニットで勤務させていただくことになりました植田友仁（うえだともひと）です。藤の木学園にやってきて1年目でまだまだわからないことだらけではありますが、子どもたちが楽しく生活し、卒園する際の助けとなれるように日々、支援していけたらと思っています。一生懸命頑張ります！よろしくお願いします。

編集後記

ICTの世の中ではありますが、インターネットでは発信できないような情報を掲載していきたいと考えています。読んでいただくための誌面作りを、心がけていただきたいと思います。細く長くでも「継続は力なり」をモットーに年1回の発行を続けていきたいと考えています。みなさんの率直なご意見やご提言をお待ちしています。今後ともよろしくお願いします。